

人間社会学部／こどもコース	職名	教授	氏名	杉野 寿子
---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

私はこれまで国内外のさまざまな場所・地域で、困難な状況で生活をされている人々と多く出会い、交流しながらソーシャルワーク実践をしてきました。それらの出会いから「誰もが安心して主体的に暮らす」ことを研究テーマにしています。地域に根ざした取り組みやネットワーク構築に関する研究、開発途上国における福祉課題に関する研究、対人援助専門職のソーシャルワーク実践に関する研究を行っています。近年深い関心を持っているのは、保育者のソーシャルワーク実践に関する研究です。本学では、子どもとその家庭の背景をふまえ、地域での子育て支援を重視できる保育者を養成しています。

福祉社会科学修士。保育士・社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・ 杉野寿子・牧海月「保育所等における外国にルーツのある子どもとその家庭への支援」保育ソーシャルワーク学研究第9号，2023年12月
- ・ 田中美樹・吉川未桜・吉田麻美・中原雄一・杉野寿子・池田孝博「入院中の子どもを支える保育士と看護師の専門性を活かした協働 第1報－業務内容の現状分析－」福岡県立大学看護学部紀要第20巻，2023年3月
- ・ 吉川未桜・田中美樹・吉田麻美・中原雄一・杉野寿子・池田孝博「入院中の子どもを支える保育士と看護師の専門性を活かした協働 第2報－協働の現状と課題－」福岡県立大学看護学部紀要第20巻，2023年3月
- ・ 田中美樹・吉川未桜・吉田麻美・杉野寿子・中原雄一・池田孝博「新型コロナウイルス感染症拡大による入院中の子どもを支える上での看護師と保育士の困難感」福岡県立大学人間社会学部紀要第31巻2号，2023年3月
- ・ 杉野寿子・吉川未桜・田中美樹・吉田麻美・池田孝博・中原雄一「入院中の子どもの権利と家族のQOLに関する課題」福岡県立大学人間社会学部紀要第31巻第1号，2022年
- ・ 吉浦朱音・杉野寿子「保育所でのソーシャルワーク実践－日常の子育て支援からの考察－」保育ソーシャルワーク学研究第8号，2022年
- ・ 杉野寿子「乳児院での実習」『福祉施設実習テキストブック』栗山宣夫・小林徹編著，建帛社，2022年
- ・ 杉野寿子「福祉型障害児入所施設での実習」『福祉施設実習テキストブック』栗山宣夫・小林徹編著，建帛社，2022年
- ・ 杉野寿子・稲葉美由紀・西垣千春「SDGs と地域共生社会の視点による社会福祉実践－多様な社会ニーズに対応する事例から－」草の根福祉第51号，社会福祉研究センター，2021年
- ・ 池田孝博・杉野寿子・大久保淳子・鷺野彰子・中原雄一・伊勢慎「保幼小連携におけるアプローチカリキュラムに関する研究の動向と課題」福岡県立大学人間社会学部紀要第29巻第2号，2021年

②その他最近の業績

<学会発表>

- ・ 杉野寿子・牧海月「保育所における外国にルーツのある子どもとその家庭への支援ー保育者へのアンケートとインタビュー調査よりー」日本保育ソーシャルワーク学会第8回研究大会口頭発表, 2023年1月
- ・ 杉野寿子・稲葉美由紀・西垣千春「多様化する社会ニーズに対応する社会福祉実践ーSDGsと地域共生社会の視点からー」日本社会福祉学会第69回秋季大会ポスター発表, 2021年9月
- ・ 横尾美智代・櫛直美・杉野寿子「医学部医学科を除く大学・短期大学の研究倫理審査委員会の状況に関する研究」日本生命倫理学会ポスター発表, 2023年12月

<報告書>

- ・ 細井勇・伊藤篤・鬼塚香・稲葉美由紀・杉野寿子・三上邦彦・森茂起「イギリスにおける児童ケアとソーシャルペダゴジー：スコットランド及びロンドン訪問調査報告書」『2019年度科研費研究報告書』2020年

③過去の主要業績

- ・ 杉野寿子・吉田茂・佐藤陽子「保育者のソーシャルワークの意識に関する研究：意識調査からみた保育者の認識と実践の関係」保育ソーシャルワーク学研究第5号, 2019年
- ・ 杉野寿子・稲葉美由紀「フィリピンの貧困と社会開発的アプローチあるソーシャルビジネスの取組みからー」地域福祉サイエンス第3号, 2016年
- ・ 杉野寿子「ヨルダンにおける障害に関する意識調査ー近年の意識傾向を探るー」社会福祉科学研究第4号, 2015年

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

- ・ 日本社会福祉学会
- ・ 日本地域福祉学会
- ・ 日本保育ソーシャルワーク学会
- ・ 日本ソーシャルペダゴジー学会

6. 担当授業科目

<学部>

社会福祉Ⅰ（2単位・1年後期）、社会的養護Ⅰ（2単位・2年前期）、子ども家庭支援論（2単位・2年後期）、子育て支援（1単位・4年前期）、社会福祉Ⅱ（2単位・4年後期）、保育実習指導Ⅰ（2単位・2～3年通年）、保育実習指導Ⅱ-B（2単位・3年後期）、保育実習Ⅰ（4単位・3年前期）、保育実習Ⅱ-B（2単位・3年後期）、演習（2単位・3年通年）、演習（2単位・4年前期）、卒業論文（6単位・4年後期）

〈大学院〉

子どもの福祉研究（2単位・前期）、子どもの福祉演習（2単位・後期）、教育課題研究B（2単位・後期）、子ども教育実践実習Ⅱ（1単位・前期）、子ども教育実践実習Ⅰ（1単位・後期）地域教育課題演習（2単位・前期）、特別研究（4単位・1～2年）

7. 社会貢献活動

- ・ 田川市子ども・子育て会議会長
- ・ 田川市子どもの権利救済委員会委員長
- ・ 香春町子ども・子育て会議会長
- ・ 福岡県教育振興審議会社会教育部会委員
- ・ 福岡県教育振興審議会学校教育部会委員
- ・ 行橋市保育園整備等検討委員会委員
- ・ 京築教育事務所発達障がい児等教育継続支援事業巡回相談員
- ・ 築上郡教育支援委員会主催教育相談・教育診断委員
- ・ 福岡県幼児教育アドバイザー

8. 学外講義・講演

- ・ 北九州市保育士等キャリアアップ研修（基礎）「保護者支援・子育て支援」講師
- ・ 北九州市保育所（園）中堅保育士研修「保護者に対する相談援助について」講師

9. 附属研究所の活動等

- ・ 2023年度研究奨励交付金（重点領域研究）「子どもの最善の利益のための看護師と保育士の協働と連携に関する研究」（研究代表者）
- ・ 2023年度研究奨励交付金（COC研究）「炭鉱閉山による児童の問題から引揚孤児問題へー福岡県を中心に」（研究分担者）
- ・ 公開講座Ⅱ「満州から博多・佐世保港に引揚げてきた子どもたち～二人の体験談を交えて～」
実行委員，2024年2月17日